

令和6年度 永幸福社会 事業報告

1、運営

【年間稼働率】運営面におきましては、入所〈97%目標に対し96.5%〉、通所〈70%目標に対し 56.2%〉となりました。入所におきましては、空床が多い状態からの年度スタートでありましたが、下期よりはショートステイとの相乗活用にてほぼ目標数値に近い状態に回復する事ができました。ショート単体でも最終的には稼働率 52%と、ここ数年では一番良い結果となりました。ただ、通所につきましては、入院による利用中止の事案増加により目標稼働率には及びませんでした。

職員研修については、どうか計画通りの研修を実施する事ができましたが、人員と時間の確保が難しい状況でありました。よって今年度は新しい研修の在り方（E-ラーニング研修）を導入しております。E-ラーニングによる均一的な研修と外部研修も活用しつつ、専門職としての個々の能力向上とユニットとしての受入れ強化を今後も図って参ります。

2、入居者

個別ケアの理念に基づき、引き続き個人の尊厳、権利擁護に重きをおいたケアサービスの取り組みを継続して参りました。常日頃、入居者様やご家族様から励みになるお言葉をかけていただき、今後も満足度の向上に尽力して参ります。

医務室におきましても、ようやく本来の二人体制を確立する事ができ、医療と介護の連携を密に、よりスピーディーに対応できる関係性が構築できつつあります。入居者様がより安心・安全に施設生活を送る事ができるよう支援して参ります。

入所の年間退所は12名（看取り7名、入院4名[内3名ご逝去]）と昨年度に続き、退所が多い1年でした。今もなお、看取り中の方も数名いらっしゃり、全体的に入居者様の平均年齢と介護度が高い状況が継続しております。

ただ、全体的には入居者様の健康状態は安定されている方が多く、特に緊急受診や入院においては例年より少ない傾向にあり、ご家族の安心感や職員負担の軽減にも繋がった印象にあります。

新型コロナウイルスにつきましては今も尚、影響が続いており、ご入院先でコロナ罹患され、急逝された入居者様も中にはいらっしゃいました。苑内でも、コロナ感染症については、通所ご利用者からショートステイご利用者へ、最終的には入所の入居者に感染が広がってしまう事案が3月に発生し、入居者様とご家族には多大なご

迷惑とご心配をかけてしまいました。初期対応の在り方や施設全体での情報共有不足などが大きな課題となりました。

イベントやレクリエーションは、毎年恒例のお花見や敬老会、クリスマス会に忘年会、また外出行事や中学生のナイスライ受け入れなどが実施できており、生活の中の楽しみと良い刺激を取り入れる事ができました。特に、入居者様の外出行事は今まで出来ていなかった分、非常に喜ばれ今後も計画を立てていきたいと思えます。

3、人材

安定した施設運営構築の為に、介護職の雇用と定着が重要課題となりますが、昨年度もギリギリの人員状況となり、介護職4名の離職（うち3名は転居）と入職は1名のみでした。そんな中でも、有難い事に「働きやすさ」については職員から一定の支持があり、少しでも長く勤めてもらえるよう、引き続き職場環境の改善等に取り組んで参りたいと思えます。

また、SNSによる広報活動、新たにはじまるグループ企業での紹介制度等を活用しつつ、少しでも人材の確保に繋がりたいと考えております。

教育・研修におきましても、新入職員向けの研修プログラム見直しや、社外研修も計画通りに実施できました。定期的に外部研修を取り入れる事で、他の施設の在り方を見たり聞いたり、ケアに対する新しいアプローチの発見に繋がったりと、良い刺激になる事も多かったと感じています。また、それらを社内共有し今後にかす事で、専門職としての個々の質の向上、及びチーム力全体の生産性向上に繋がっていきたくと考えております。